

R3「学力向上対策3つの提言」推進拠点校の取組 及び 成果と課題 ①

(佐伯市立佐伯城南中学校)

重点的取組 【提言2】

学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築

<学力向上に向けて重点的取組に上げた理由>

今年度佐伯市教育委員会より「説明する力」についてのテーマ指定を受け、教科ごとの「説明する力」を育成するための指導内容や方法を、教科部会等で研究していくことを重点とした。

取組の具体

①校内研修における教職員間の「説明する力」に関する共通理解

・城南中生の「説明する力」の育成を目指して

②定期的な教科部会の実施

・日課表に位置づけた月2回の教科部会の実施

・「説明する力」の育成に向けた指導内容の作成及び、授業における「説明する力」の育成場面の設定

成果と課題

<成果>

- ・基盤となる考え方についての共通理解や共通実践を通しての情報交換等、研究の方向性が焦点化され、学校全体での組織的な取組につながり、生徒の意識も高まった。
- ・教科経営の基盤となる教科部会を実施し、「説明する力」についての情報交換や自己の授業の振り返りを定期的に行なってきたことで、個々の指導力が向上し、学力の向上に結びついた。
- ・校内におけるOJTを通して、若手教員の人材育成につながっている。

<課題>

- ・教職員間で授業時数に差があるため、定期的な部会開催が難しい教科がある。



その他の取組 【提言1】

学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底

取組の具体

○互見授業の実施

- ・学期に1人1回の教科内互見授業の実施
 - ・各学期互見授業週間及び全体互見授業日の設定
 - ・指導略案の工夫
- (「ものの見方・考え方」を働かせる場面、「説明する力」の育成場面の設定)

成果と課題

<成果>

互いの授業を参観し、その授業における「説明する力」の育成に関する工夫点や有効な手立てを、自分の授業に取り入れることができ、授業改善につながった。また、授業参観を多く経験することで、主体的な態度で学習に取り組む生徒が増えた。

<課題>

「説明する力」の視点をより明確にした振り返りができるような事後研究会の持ち方を検討する必要がある。

その他の取組 【提言3】

「生徒と共に創る授業」の推進

取組の具体

○生徒による授業評価アンケートの実施・分析

- ・授業評価アンケートの分析結果を基にした、次学期の授業改善テーマ及び手立ての設定
- ・2ヶ月に1回、生徒による授業改善テーマ及び手立てについての振り返りの実施

○学期に1回、学級目標、学習目標、自問清掃目標の振り返りを実施及び再設定

成果と課題

<成果>

生徒による授業評価を活用し、「説明する力」を中心とした授業改善を短期PDCAサイクルで行い、生徒と共に創る授業づくりを推進した。学びに向かう学習集団としての自覚も高まった。

<課題>

「説明する力」の達成度に関する項目で、教師と生徒の回答に差が見られた。具体的なゴールイメージを共有する必要がある。